

# 第15回 介護福祉士の就労実態と 専門性の意識に関する調査 調査結果



公益社団法人日本介護福祉士会  
Japan Association of Certified Care Workers

## ● 調査実施概要／調査目的

全国の介護福祉士の勤務状況や業務内容及び、  
専門職としての意識等に関する実態把握



介護福祉士の就労実態や生涯学習に  
関する課題等を把握



今後の公益社団法人日本介護福祉士会の  
事業に反映させ、制度の充実を図っていく

※今回は15回目の実施



## ● 調査実施概要／対象者及び方法

- 調査対象：ケアウェルにメールアドレスを登録している日本介護福祉士会会員
- 調査方法：上記会員にメールで調査を依頼し、ウェブフォームに回答する方法により調査を実施



※ウェブフォームのみによる取組は、  
今回が初めて

## ● 調査実施概要／回収状況

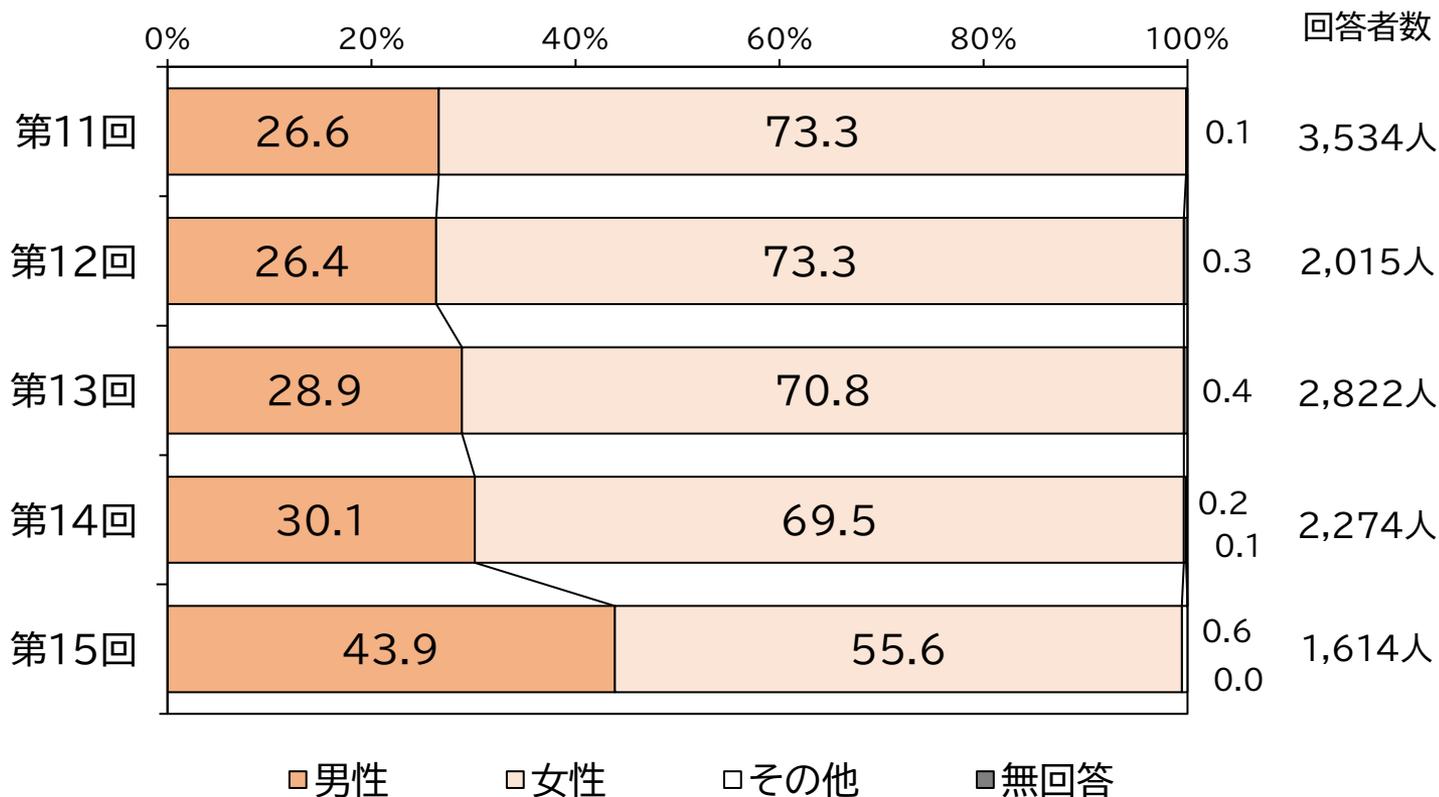
- 対象者数 (A) : 15,908人
- 回収数 (B) : 1,614人
- 回収率 (C) : 10.1% [ $C = B / A$ ]

### 参考【前回（第14回）の回収状況】

- 対象者数 (A) : 7,000人
- 回収数 (B) : 2,274人  
(紙面回答 1,689人、ウェブ回答 585人)
- 回収率 (C) : 32.5% [ $C = B / A$ ]  
(紙面回答 24.1%、ウェブ回答 8.4%)

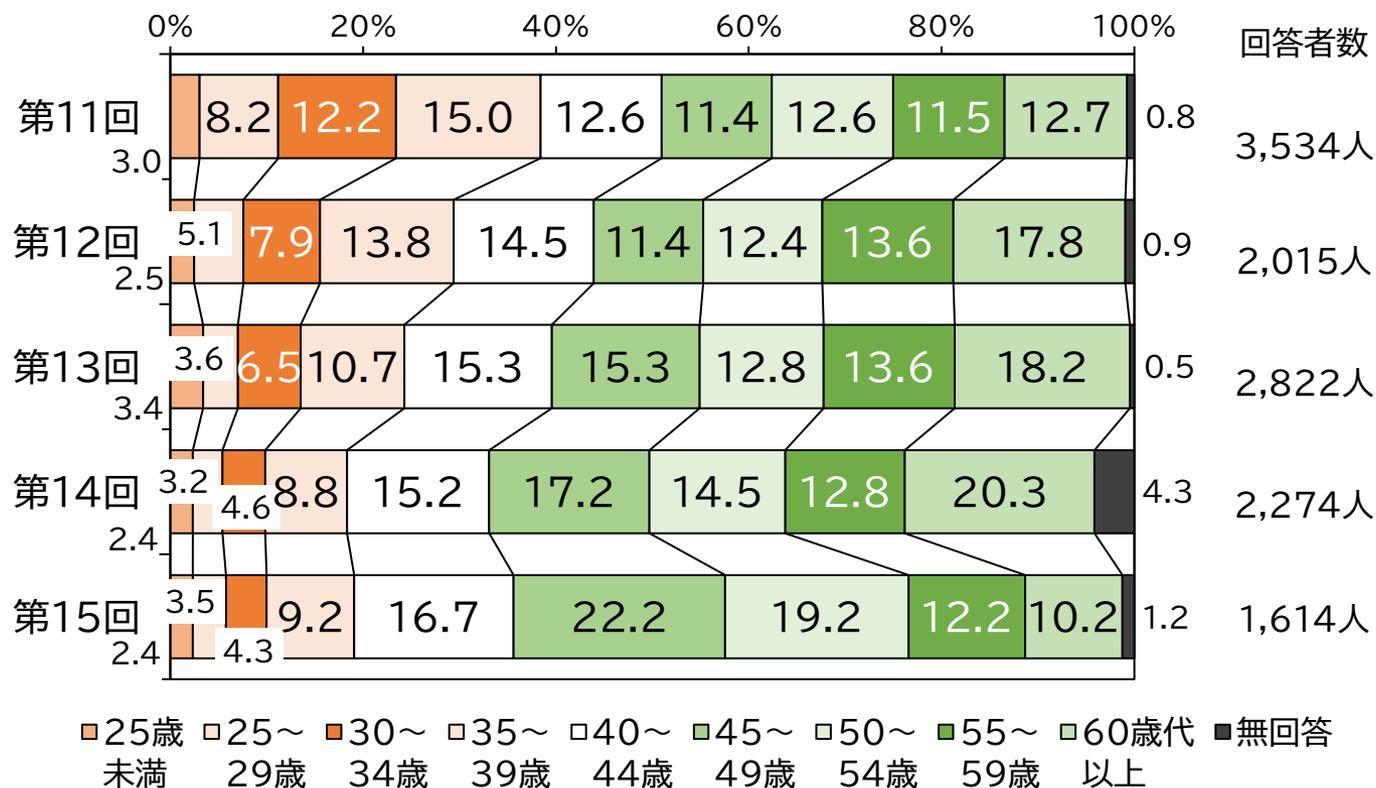
# ● 回答者の属性／性別（問1）

「女性」55.6%、「男性」43.9%



# ● 回答者の属性／年齢（問1）

年齢は、40代、50代で合計70.3%  
平均年齢は、47.3歳

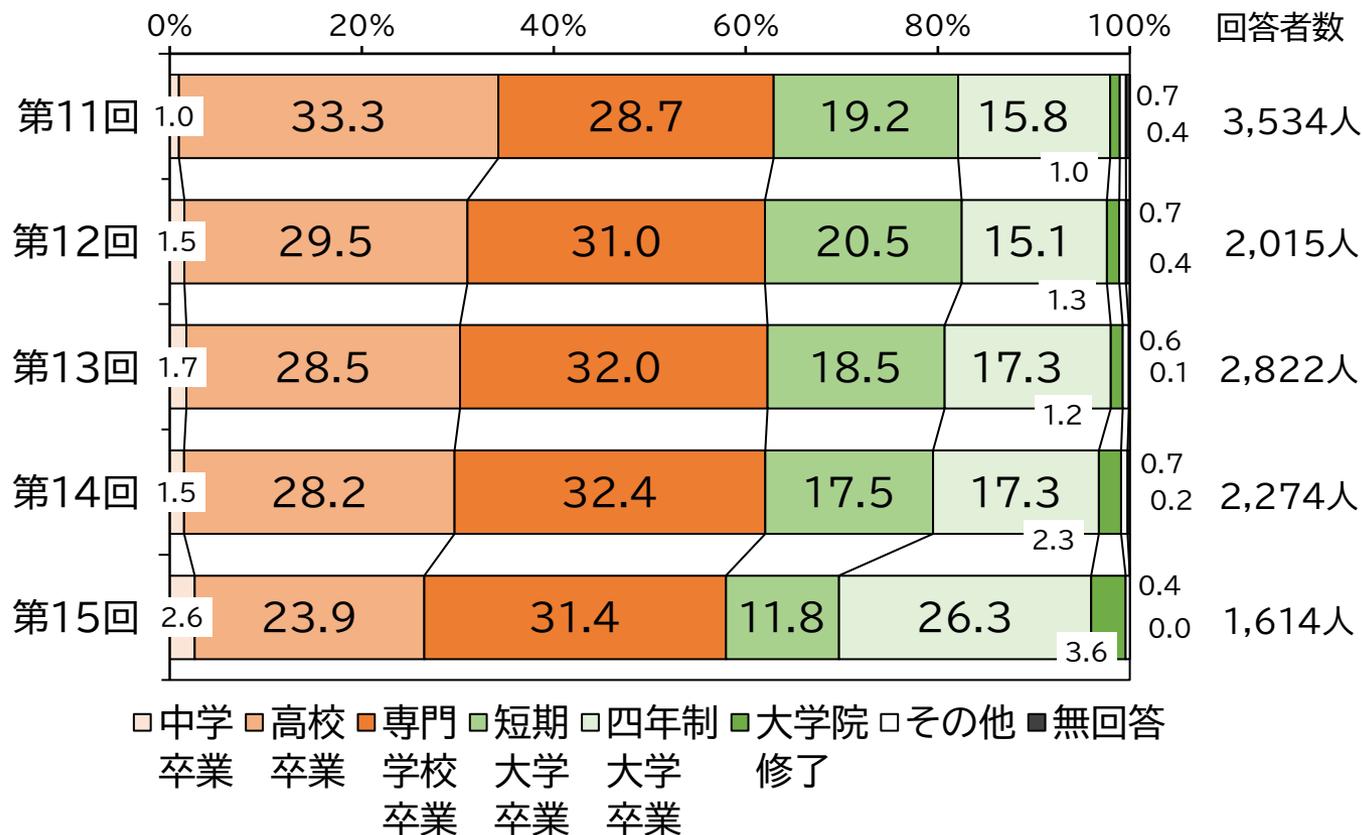


# ● 回答者の属性／最終学歴（問3）

「専門学校卒業」31.4%、「短期大学卒業」11.8%

「四年制大学卒業」26.3%、「大学院修了」3.6%

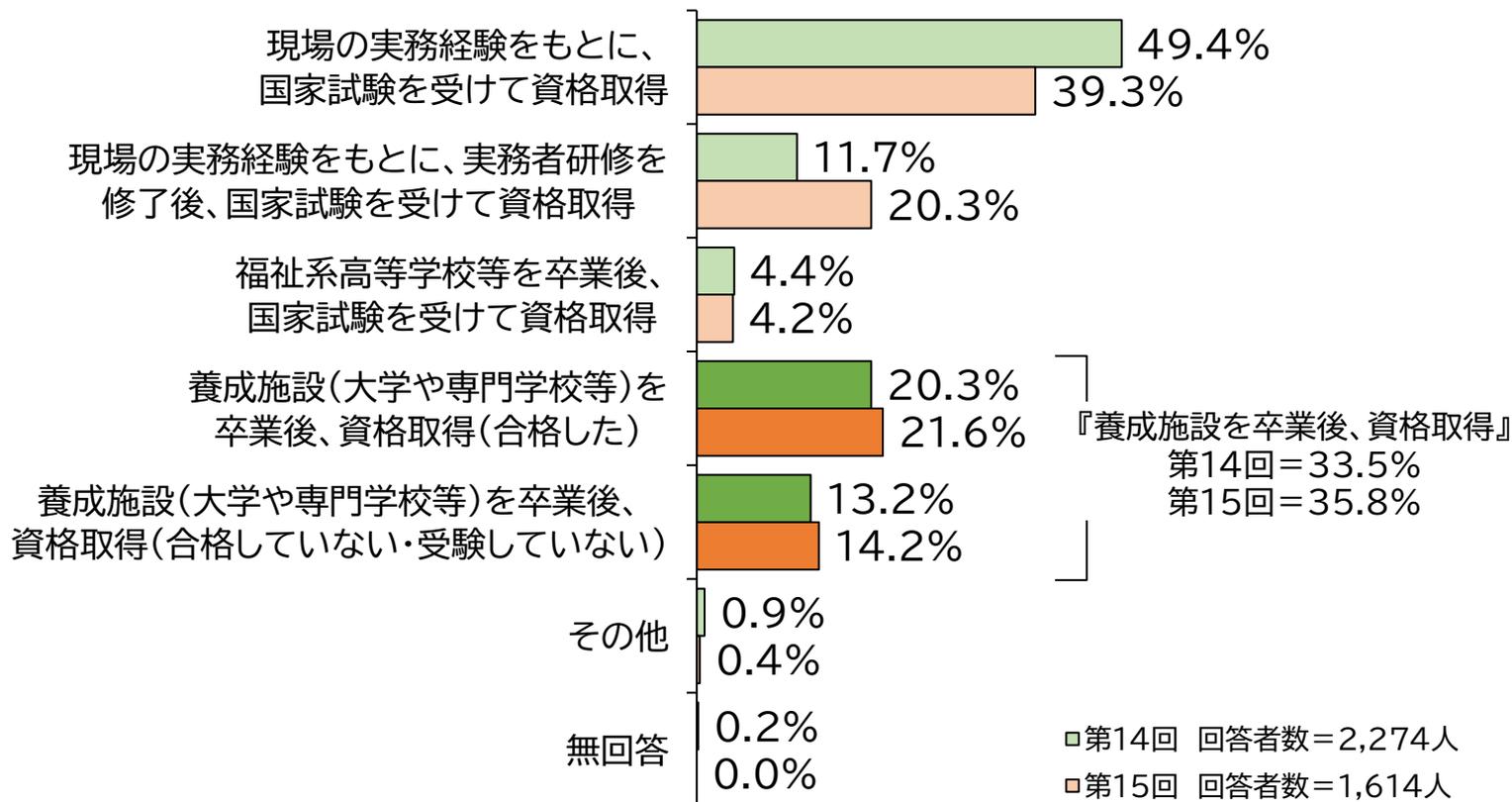
合わせて**専・短・大卒以上は69.5%**



# ● 回答者の属性／介護福祉士資格の取得方法（問4）

第1位は、「現場の実務経験をもとに、  
国家試験を受けて資格取得」39.3%

第2位は、『養成施設を卒業後、資格取得』35.8%

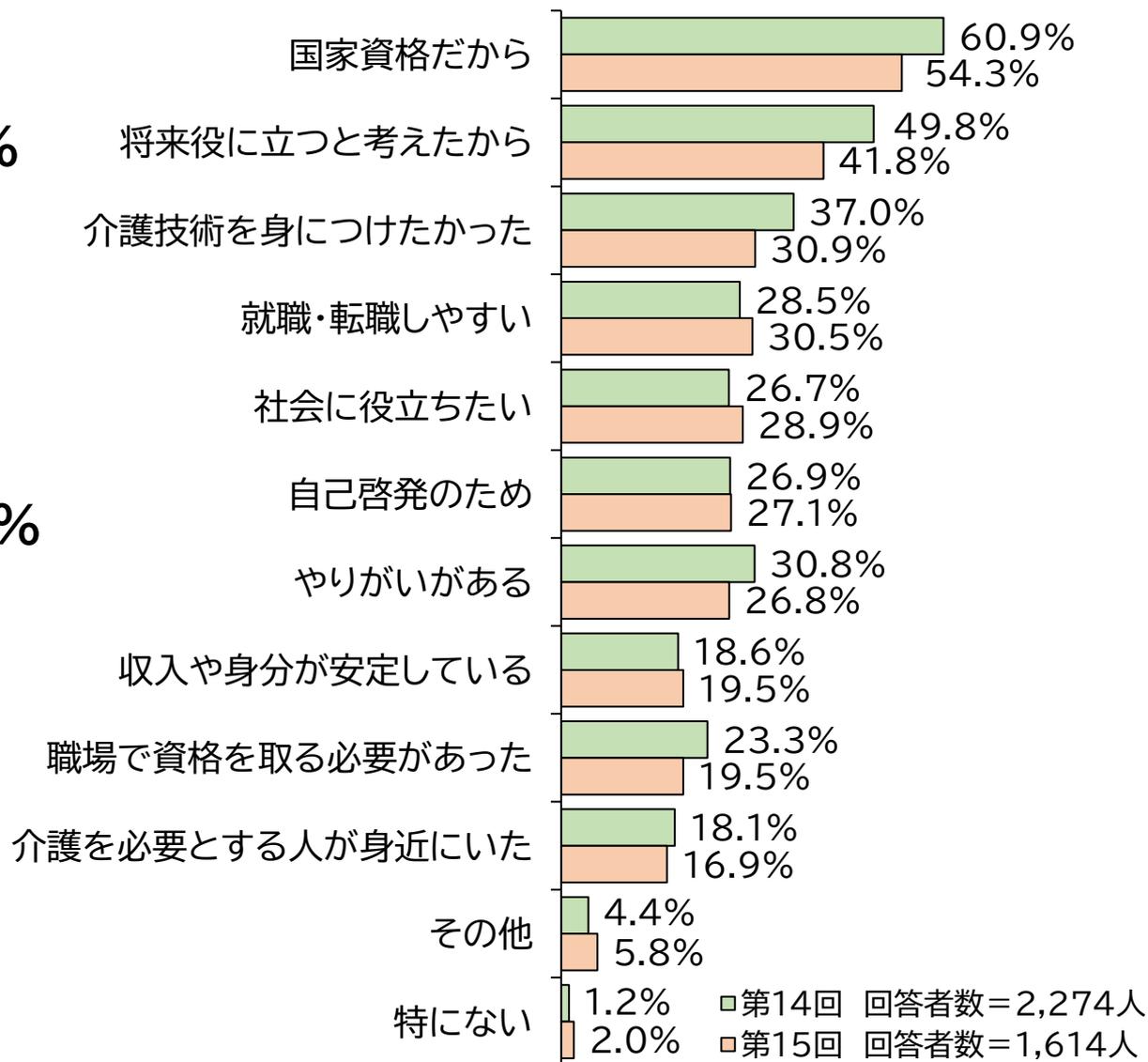


# ● 回答者の属性／資格取得の動機（問5）

第1位は、  
「国家資格だから」54.3%

第2位は、  
「将来役に立つと  
考えたから」41.8%

第3位は、  
「介護技術を  
身につけたかった」30.9%

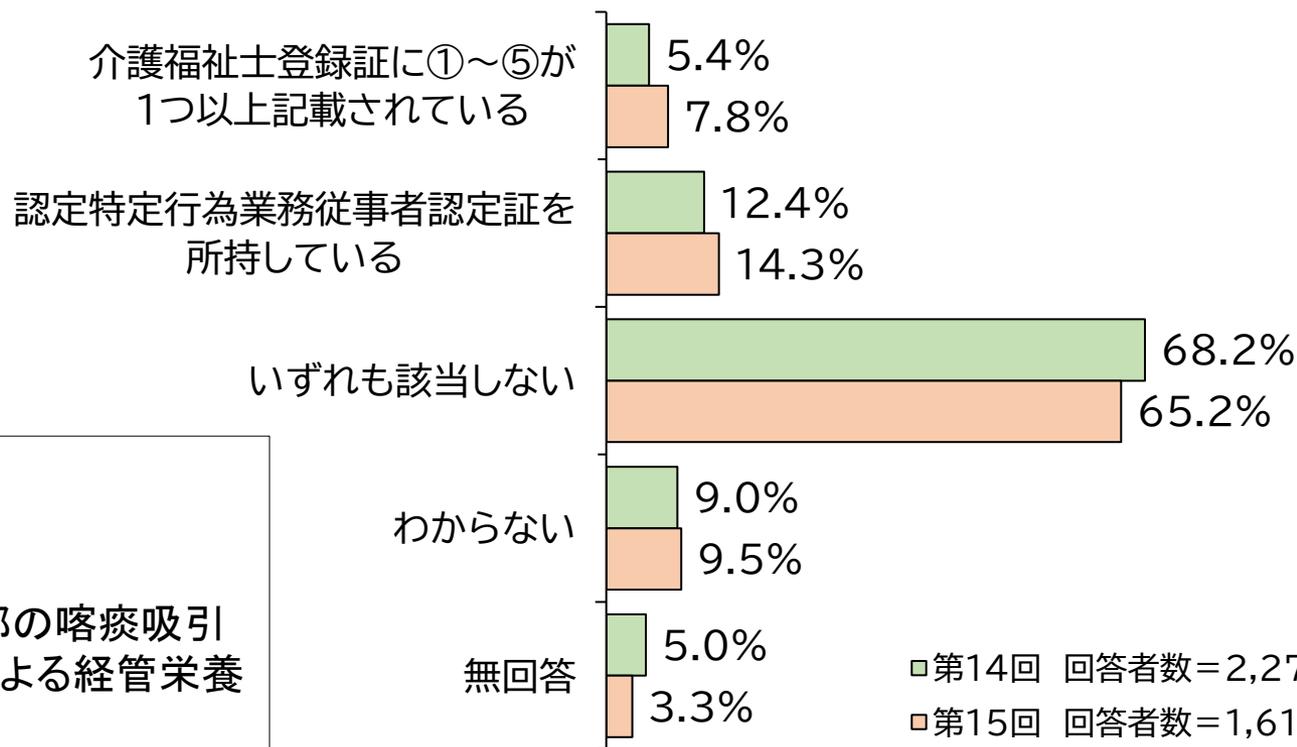


# ● 「喀痰吸引等研修」の受講等（問7）

「喀痰吸引等研修」の受講は、

「介護福祉士登録証に①～⑤※が1つ以上記載されている」が**7.8%**

「認定特定行為業務従事者認定証を所持している」が**14.3%**



※

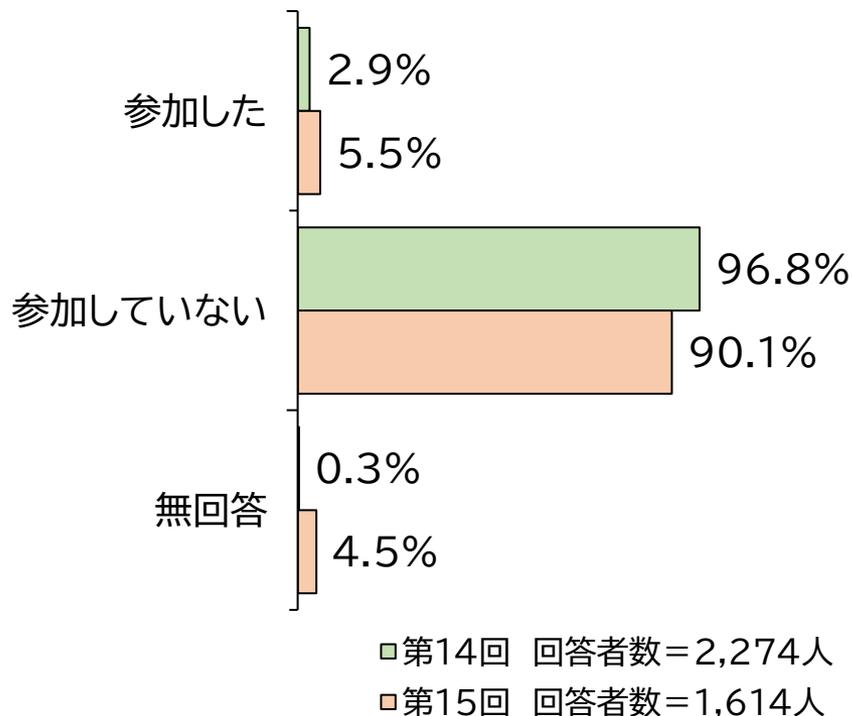
- ①口腔内の喀痰吸引
- ②鼻腔内の喀痰吸引
- ③気管カニューレ内部の喀痰吸引
- ④胃ろう又は腸ろうによる経管栄養
- ⑤経鼻経管栄養

# ● 研修等／参加の有無（問8）

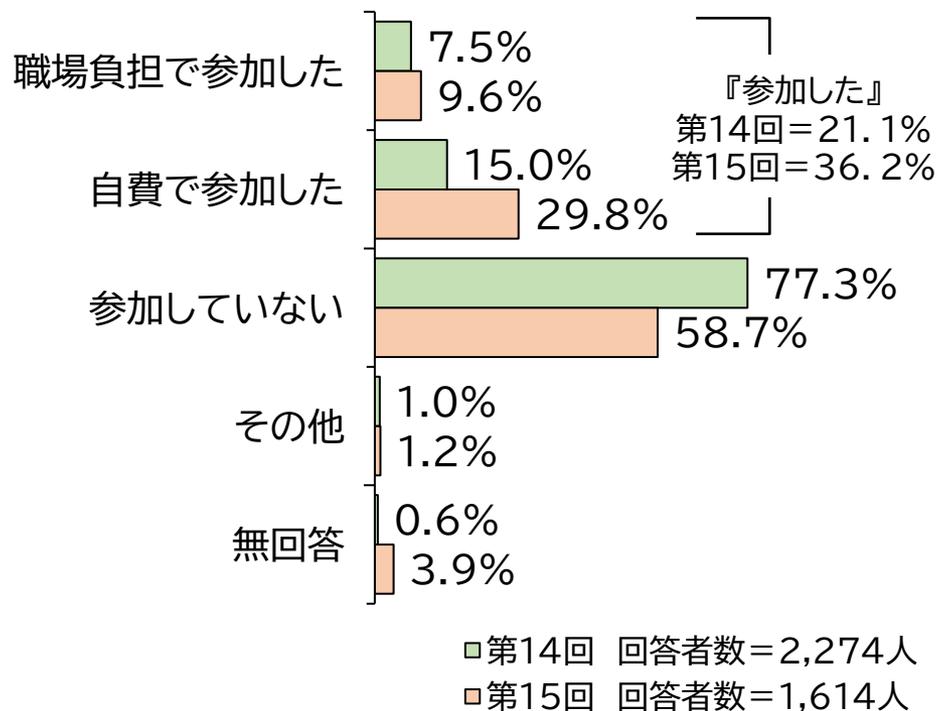
日本介護福祉士会の全国大会への参加が5.5%

都道府県介護福祉士会主催研修への参加が36.2%

①(公社)日本介護福祉士会の全国大会の有無



②都道府県介護福祉士会主催研修の有無【複数回答】

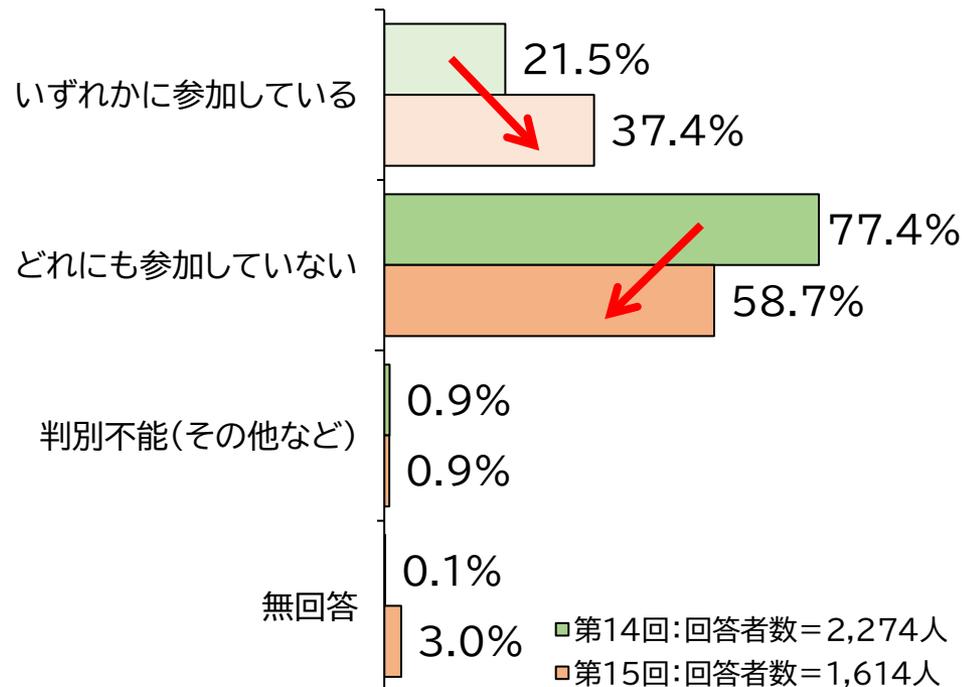


## ● 研修等／参加の有無（問8）

第14回調査の結果と比較すると

「いずれかに参加している」割合は15.9ポイント増加

「どれにも参加していない」割合は18.7ポイント減少



①(公社)日本介護福祉士会の全国大会  
②都道府県介護福祉士会主催研修  
上記、①②の研修等のいずれか

# ● 研修等／参加の有無（問8）

単位:%	全体	性別		年齢別					雇用別	
		男性	女性	30歳未満	30歳台	40歳台	50歳台	60歳以上	正規職員	正規職員以外
『参加している』	37.4	37.7	37.2	27.7	28.6	39.5	38.5	42.2	39.2	32.3

単位:%	全体	所属別					主な職種別				
		生活施設 入所・入居、 の事業所	居宅・相談支援等	医療施設	その他の機関	介護職員等	生活相談員・ 生活指導員	サービス提供責任者・ 管理責任者	介護支援専門員	管理者	教員・助手等
『参加している』	37.4	35.2	43.6	41.7	38.5	37.6	33.3	44.3	38.2	39.2	40.0

回答者数=1,614(人)

# ● 研修等／生涯研修制度の受講状況（問9①）

『受講した(している)』は  
58.5%

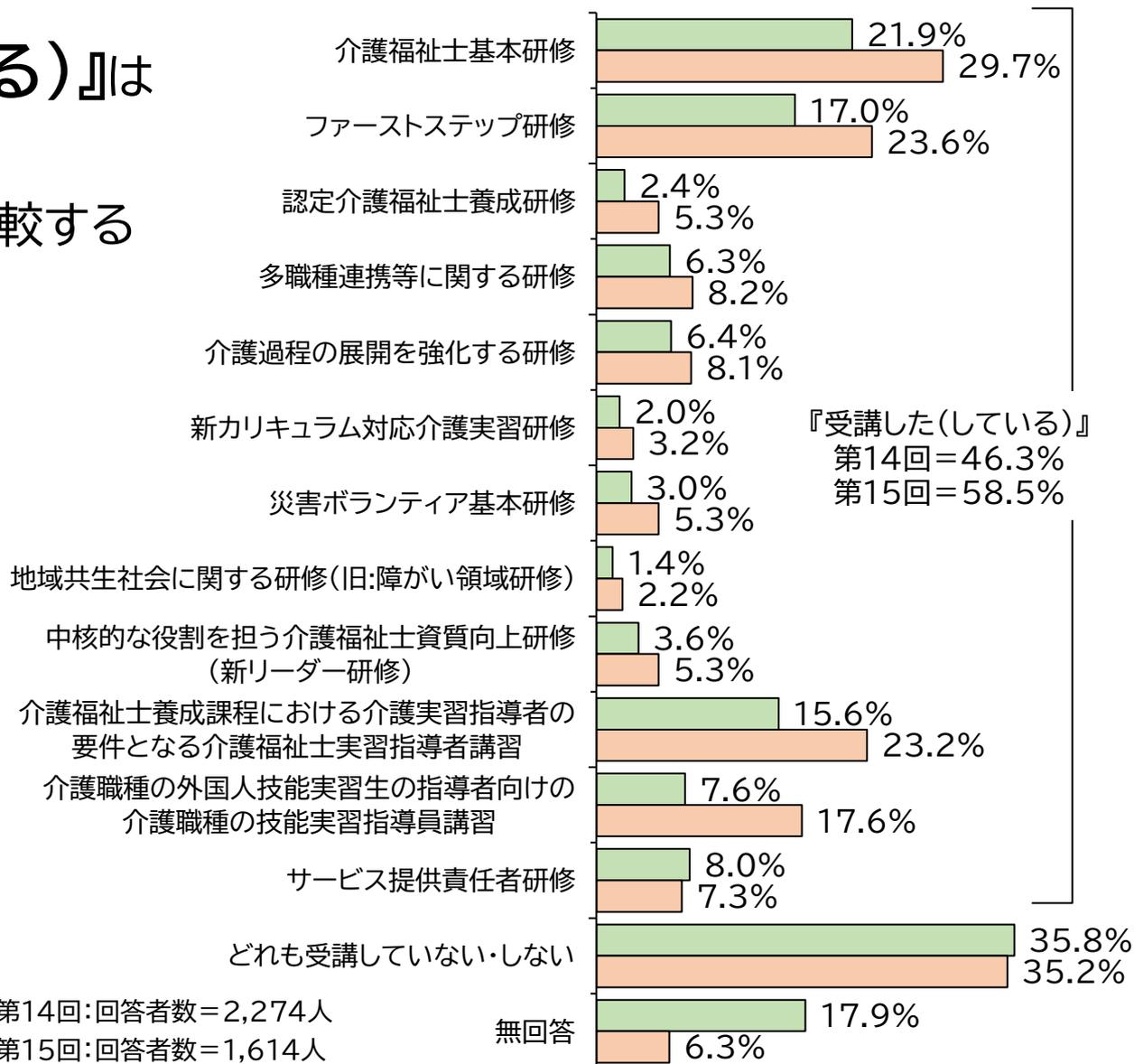
第14回調査の結果と比較すると12.2ポイント増加

『受講した(している)』  
割合の変化



□ 第14回: 回答者数=2,274人

□ 第15回: 回答者数=1,614人



『受講した(している)』  
第14回=46.3%  
第15回=58.5%

# ● 研修等／生涯研修制度の受講状況（問9①）

単位:%	全体	性別		年齢別					雇用別	
		男性	女性	30歳未満	30歳台	40歳台	50歳台	60歳以上	正規職員	以外 正規職員
『受講した(している)』	58.5	54.8	61.2	34.1	51.6	67.6	53.4	62.1	60.3	55.3

単位:%	全体	所属別					主な職種別					
		設 入所・入居、生活施	の 居宅・相談支援等 の事業所	医療施設	その他の機関	介護職員等	指導員	生活相談員・生活者・管理責任者	サービス提供責任者	介護支援専門員	管理者	教員・助手等
『受講した(している)』	58.5	59.7	67.5	56.8	52.4	60.5	57.9	61.0	57.8	59.2	56.7	

回答者数=1,614(人)

# ● 研修等／生涯研修制度の受講意向 (問9②)

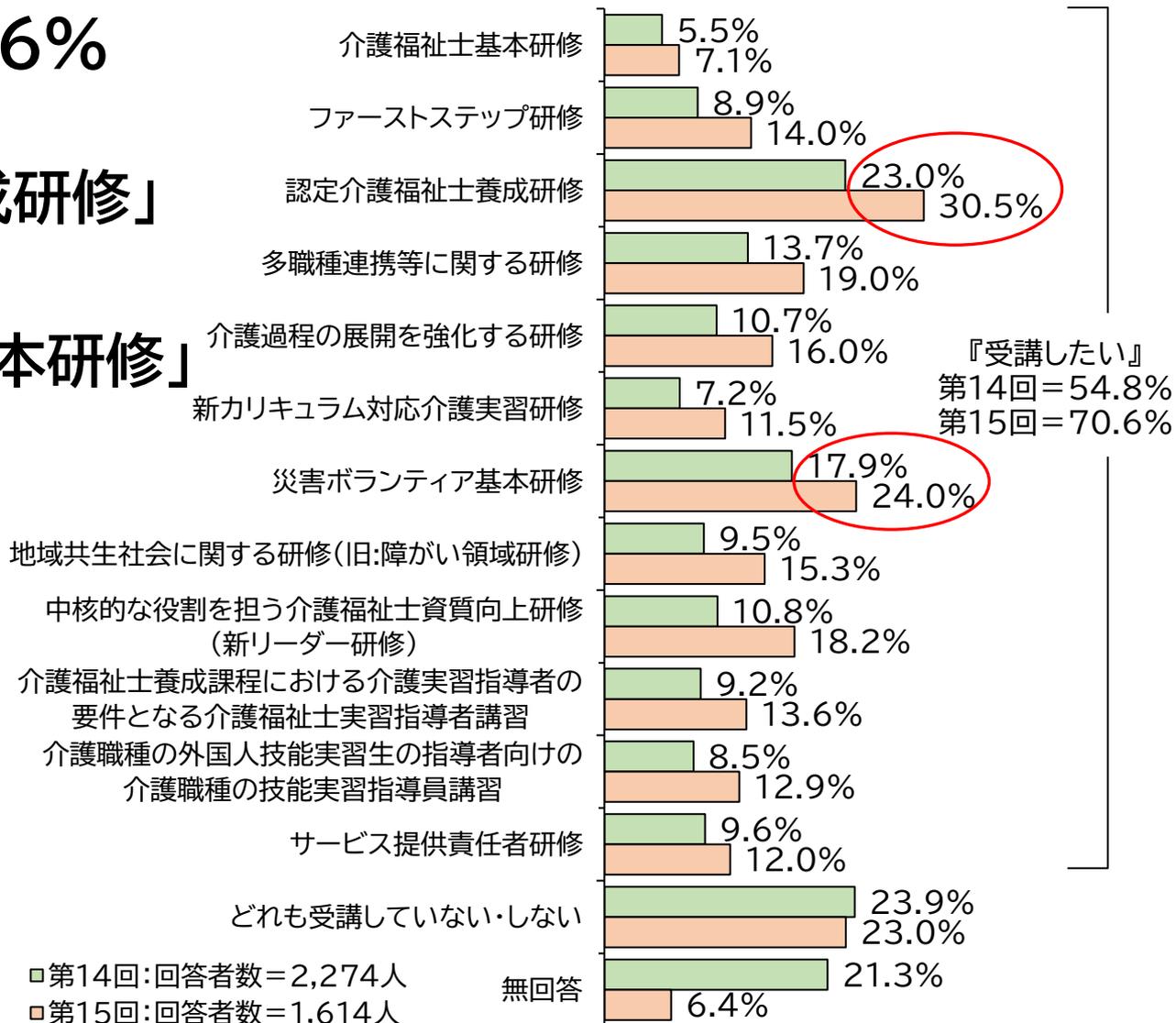
『受講したい』は70.6%

第1位は、

「認定介護福祉士養成研修」

第2位は、

「災害ボランティア基本研修」



■ 第14回:回答者数=2,274人  
■ 第15回:回答者数=1,614人

# ● 研修等／生涯研修制度の受講意向（問9②）

単位:%	全体	性別		年齢別					雇用別	
		男性	女性	30歳未満	30歳台	40歳台	50歳台	60歳以上	正規職員	以外 正規職員
どれも受講していない・しない	23.0	24.7	21.9	30.9	25.8	22.2	21.3	23.5	21.7	26.4
『受講したい』	70.6	68.1	72.3	65.9	70.5	73.2	69.2	67.5	72.8	67.0

単位:%	全体	所属別					主な職種別				
		施設 入所・入居、生活	居宅・相談支援等の事業所	医療施設	その他の機関	介護職員等	指導員 生活相談員・生活 任者・管理責任者	サービス提供責任者	介護支援専門員	管理者	教員・助手等
どれも受講していない・しない	23.0	21.7	19.8	20.8	36.1	20.9	26.3	11.5	22.7	26.1	30.0
『受講したい』	70.6	73.2	75.0	70.1	54.1	75.0	70.2	79.7	68.0	63.5	60.0

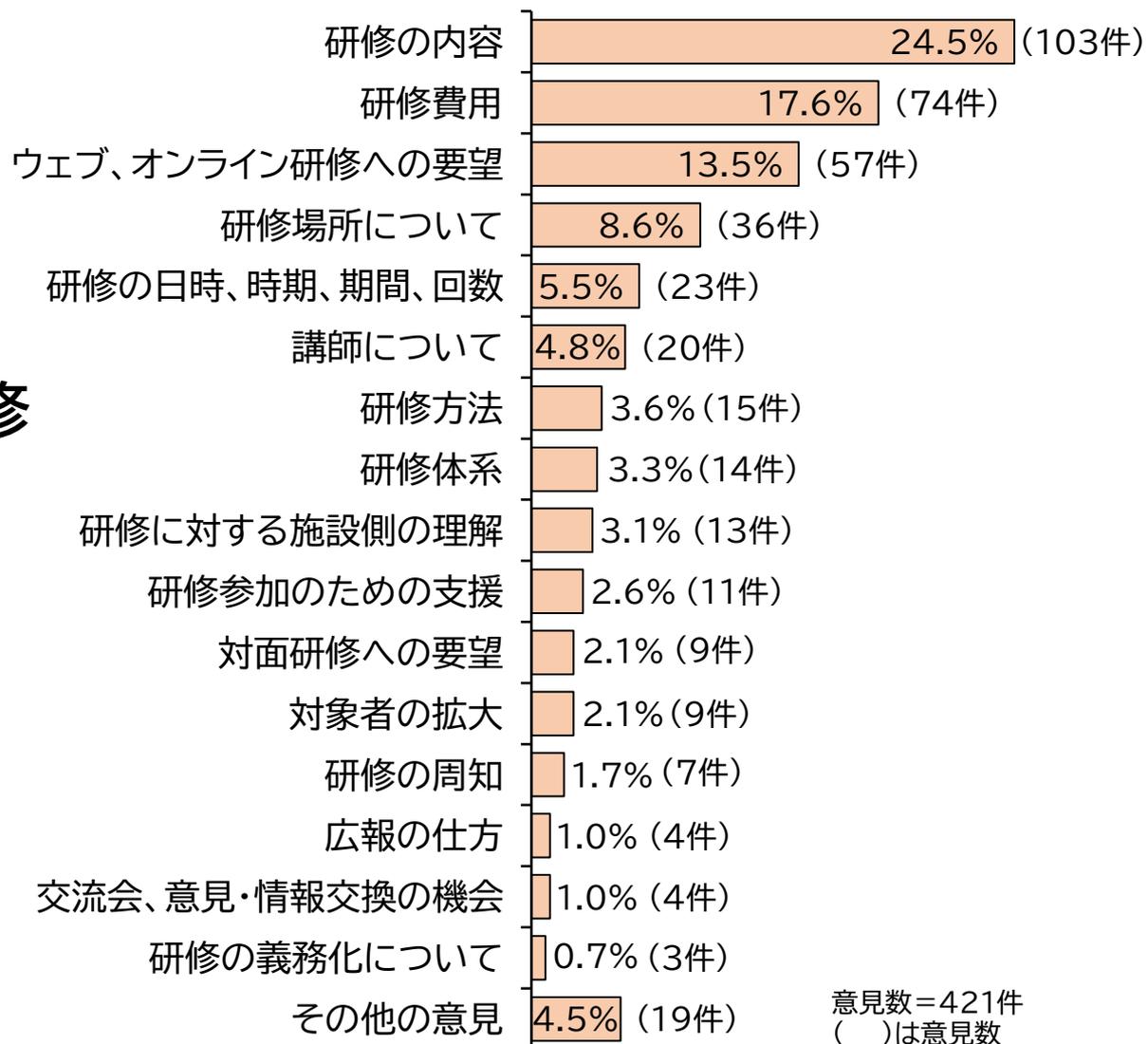
回答者数=1,614(人)

# ● 研修等／望む研修のあり方（問10）

第1位は、  
「研修の内容」24.5%

第2位は、  
「研修費用」17.6%

第3位は、  
「ウェブ、オンライン研修  
への要望」13.5%



意見数=421件  
( )は意見数

■ 研修の内容について、【103 件】のご意見や要望があった。 以下は抜粋

- ICTなどこれからの介護を含めた研修が必要だと思う。
- キャリア段位制度に関連した介護技術講習会。
- 介護技術のスキルアップの研修があってほしい。
- 介護技術をよりリアルに感じられる研修。
- 介護現場での緊急対応(応急救護)。
- 外国人介護職員向けと外国人介護職員を指導する立場の介護福祉士向けの研修。
- 看取りや医療面の知識も今後必要だと思うので実施してほしい。
- 最新の介護技術の教え方。
- 施設長、管理者になるために必要な知識の研修。
- 障がいや障がい者に関する研修をもっと増やしてほしいです。
- 新しい取り組み、こんなことに取り組んでいるなど知りたい。

■ 研修費用について、【74 件】のご意見や要望があった。 以下は抜粋

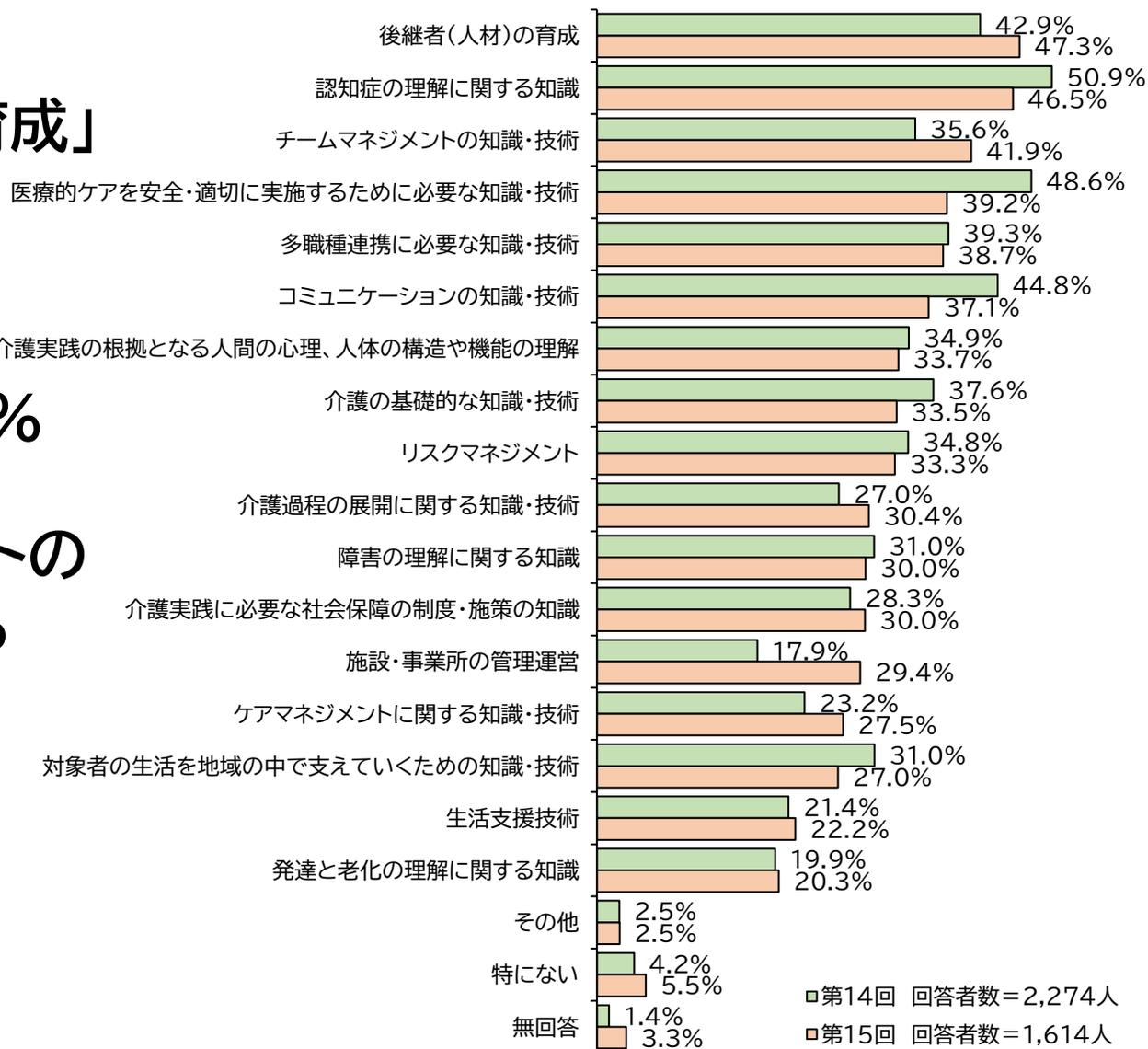
- 会員割引があるとお得に感じます。
- 研修費用が高すぎて、費用対効果がない。法人で研修費を負担すべき。
- 県介護福祉士会での研修は、会員価格があるが、もう少し安いとありがたいです。
- 認定介護福祉士の受講費用が高額になるため、助成金があると有難いです。
- 費用が安く、又は補助金等があり、現場に役立つ研修があれば参加したい。
- 費用が高いと研修を受け辛い。認定介護福祉士になる為の必要研修の道筋が欲しい。

# ● 研修等／更に高めたい専門的な知識や技術（問11）

第1位は、  
「後継者(人材)の育成」  
47.3%

第2位は、  
「認知症の理解に  
関する知識」46.5%

第3位は、  
「チームマネジメントの  
知識・技術」41.9%



# ● 就労状況／職場の種類（問12）

95.0%が「福祉や介護に関係する」仕事をしている

## 職場の種類の上位5位

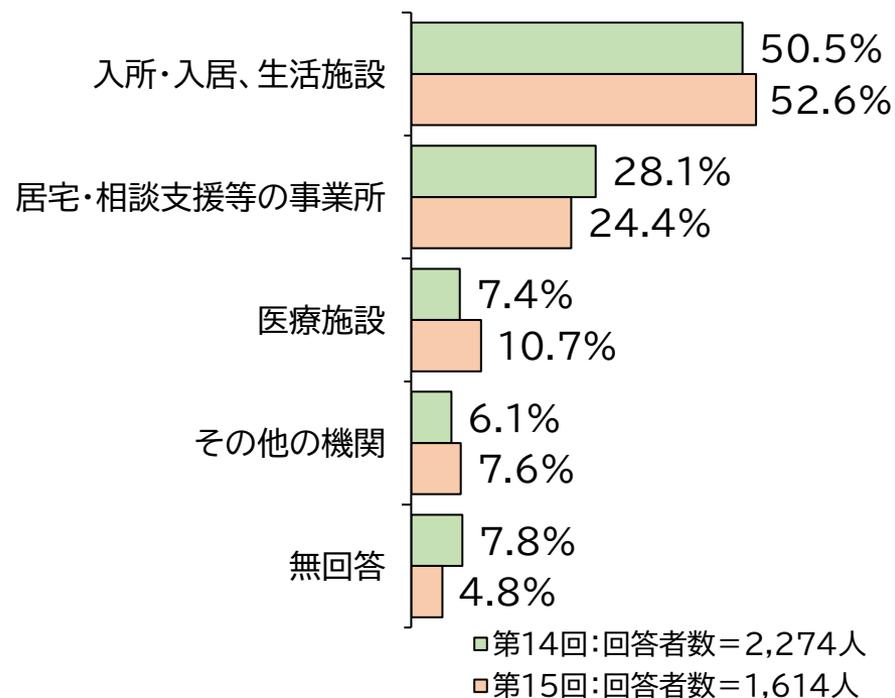
「介護老人福祉施設」17.9%

「介護老人保健施設」11.3%

「有料老人ホーム」6.4%

「訪問介護事業所」6.3%

「通所介護事業所」5.8%



第14回調査の結果と比較すると

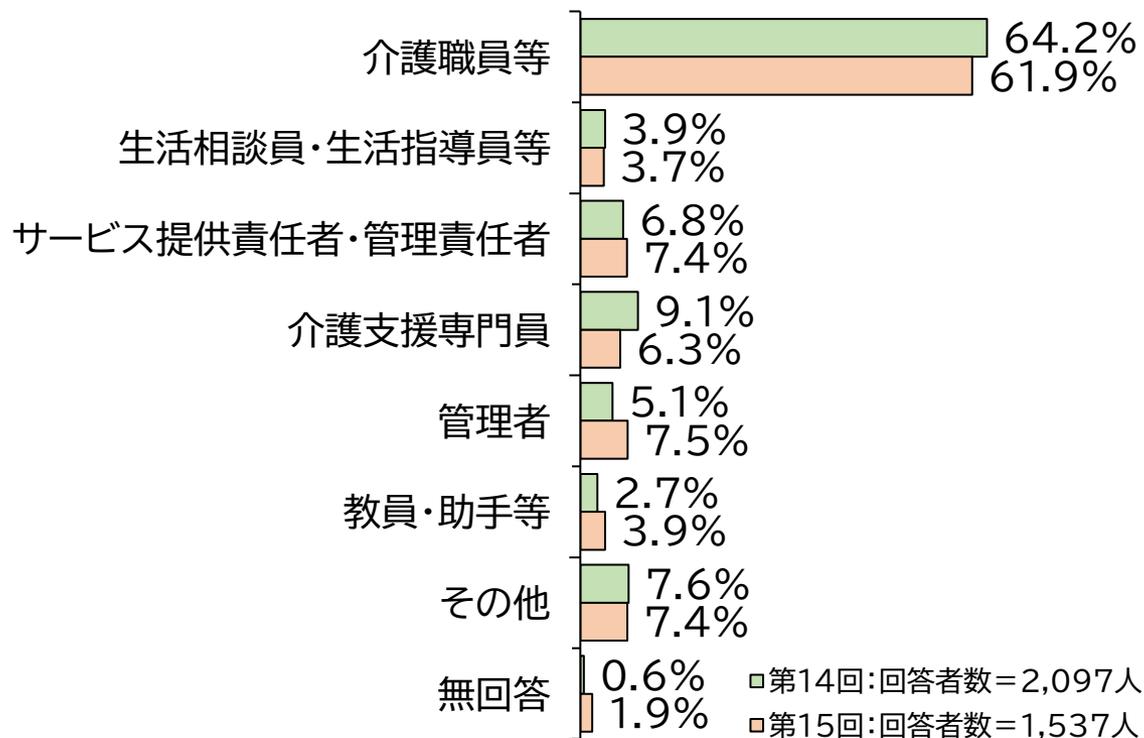
「入所・入居、生活施設」の割合が2.1ポイント増加

# ● 就労状況／主な職種（問15）

最も高い割合は、「介護職員等」61.9%

「管理者」7.5%

「サービス提供責任者・管理責任者」7.4%

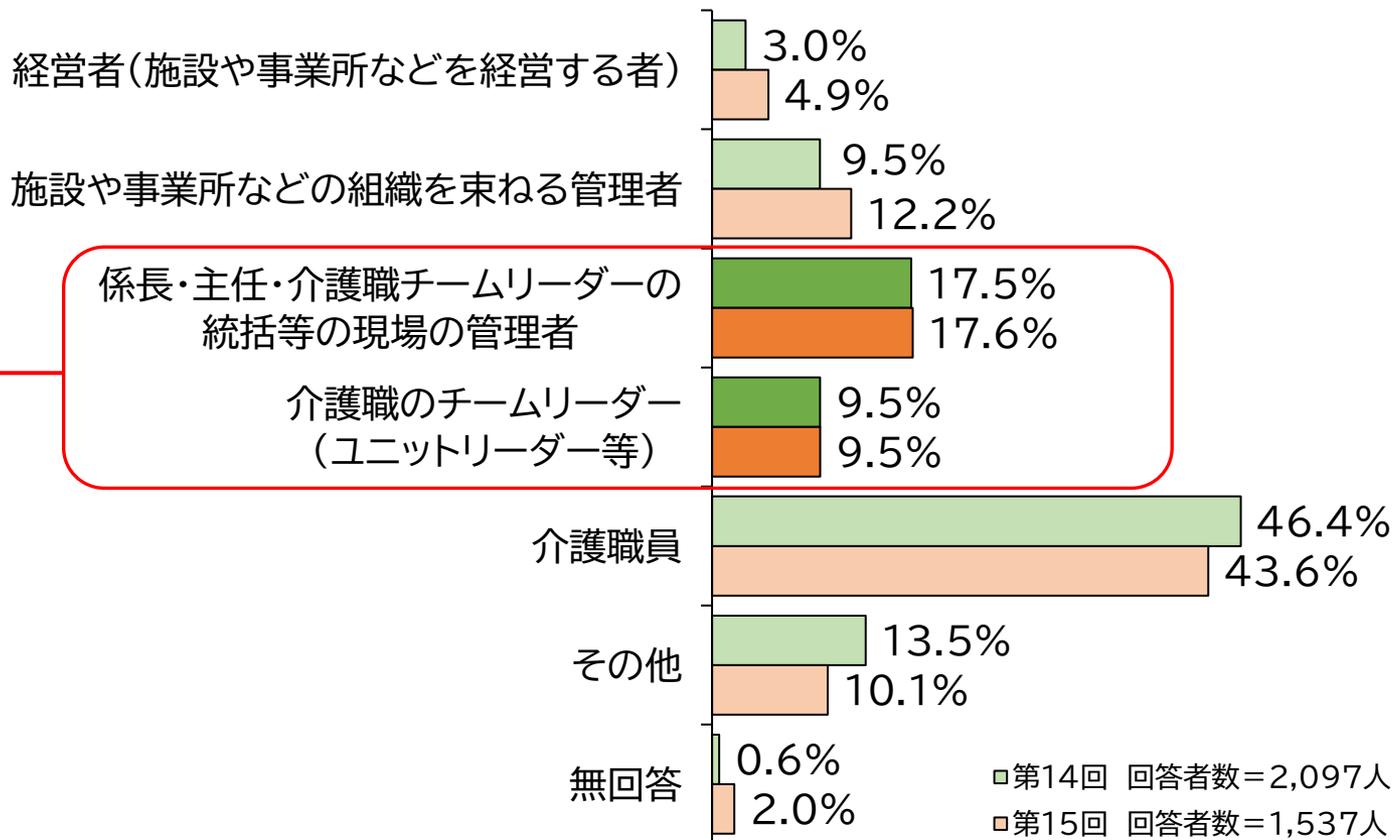


※職場の種類「福祉や介護に関係しない仕事」「仕事はしていない」「無回答」を除く1,537人が集計対象

# ● 就労状況／職場での立場（問16）

『介護職リーダー』は27.1%

「介護職員」は43.6%



※職場の種類「福祉や介護に関係しない仕事」「仕事はしていない」「無回答」を除く1,537人が集計対象

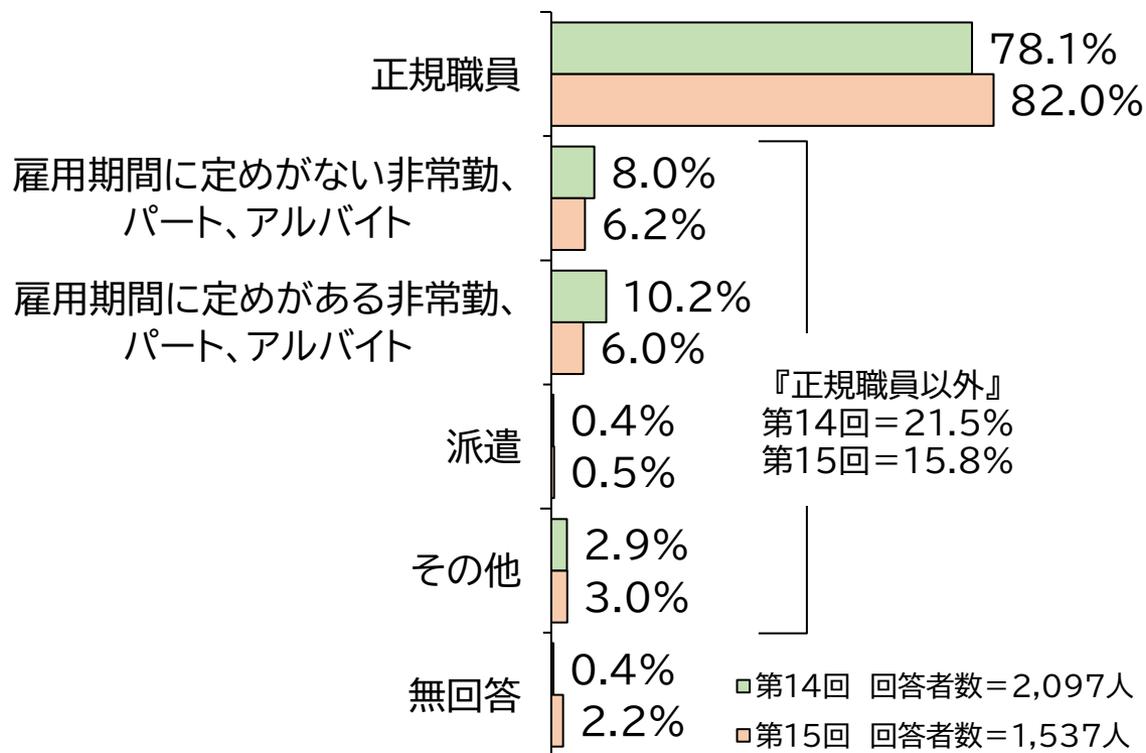
# ● 就労状況／雇用形態（問17）

「正規職員」82.0%、『正規職員以外』15.8%

第14回調査の結果と比較すると

「正規職員」の割合は3.9ポイント増加

【正規職員割合の変化】



※職場の種類「福祉や介護に関係しない仕事」「仕事はしていない」「無回答」を除く1,537人が集計対象

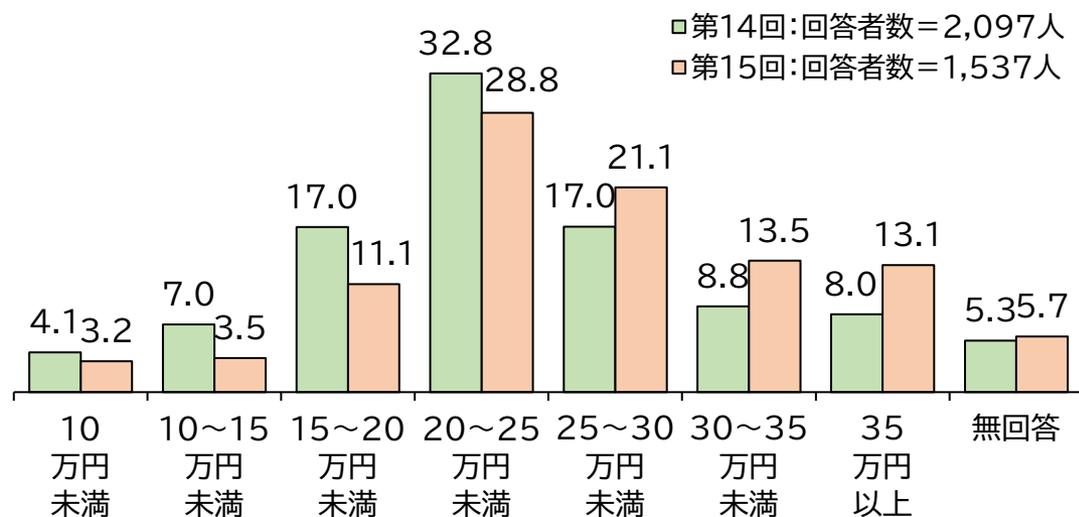
# ● 就労状況／1か月の給与①（問18）

※税込み、賞与は除く

## 20～35万円が全体の63.4%

第14回調査の結果と比較すると

## 平均給与額は、全体で25,000円上昇



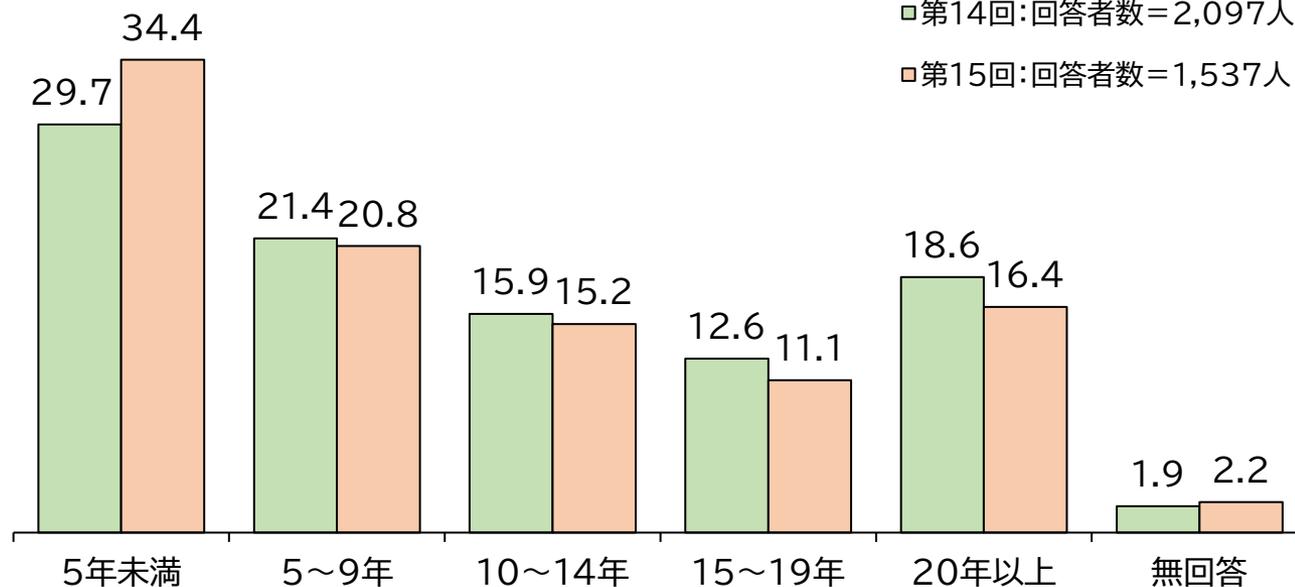
### 「平均額」の変化



※職場の種類「福祉や介護に関係しない仕事」「仕事はしていない」「無回答」を除く1,537人が集計対象

# ● 就労状況／現在の職場の在職年数（問19）

10年未満が55.2%  
在職平均年数は9.7年



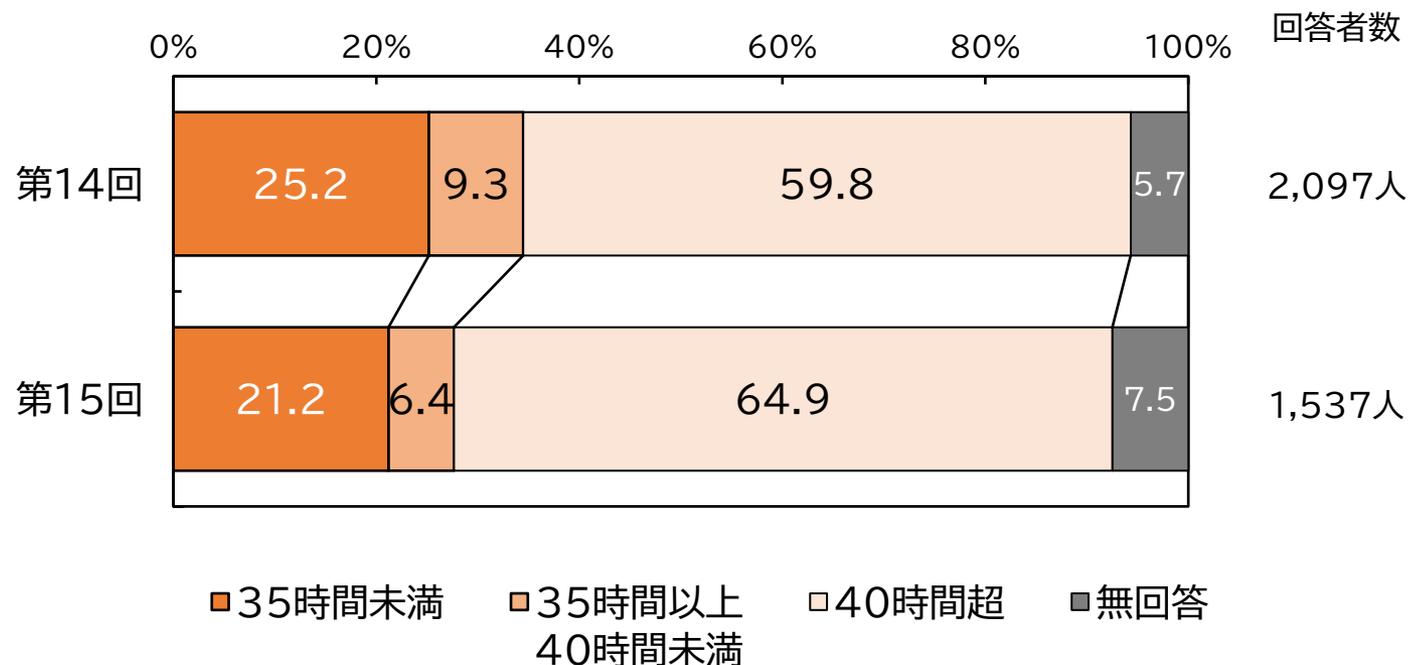
【在職年数の変化】



※職場の種類「福祉や介護に関係しない仕事」「仕事はしていない」「無回答」を除く1,537人が集計対象

# ● 就労状況／実際の労働時間（問20）

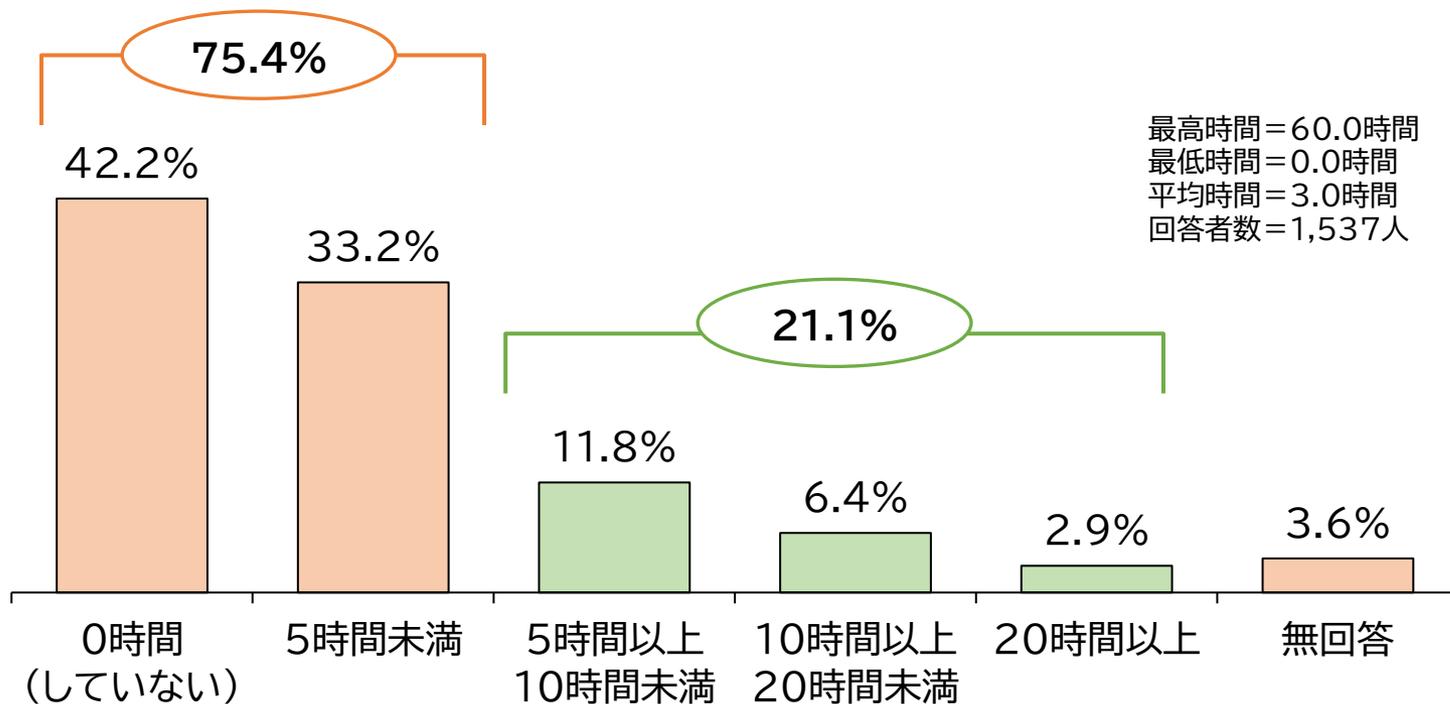
1週間あたりの実際の労働時間は、「40時間超」が64.9%  
第14回調査より5.1ポイント増加



※職場の種類「福祉や介護に関係しない仕事」「仕事はしていない」「無回答」を除く1,537人が集計対象

# ● 就労状況／1週間あたりの残業時間（問21）

残業時間は「0時間(していない)」42.2%  
「5時間未満」33.2%、合わせて75.4%  
5時間以上は21.1%

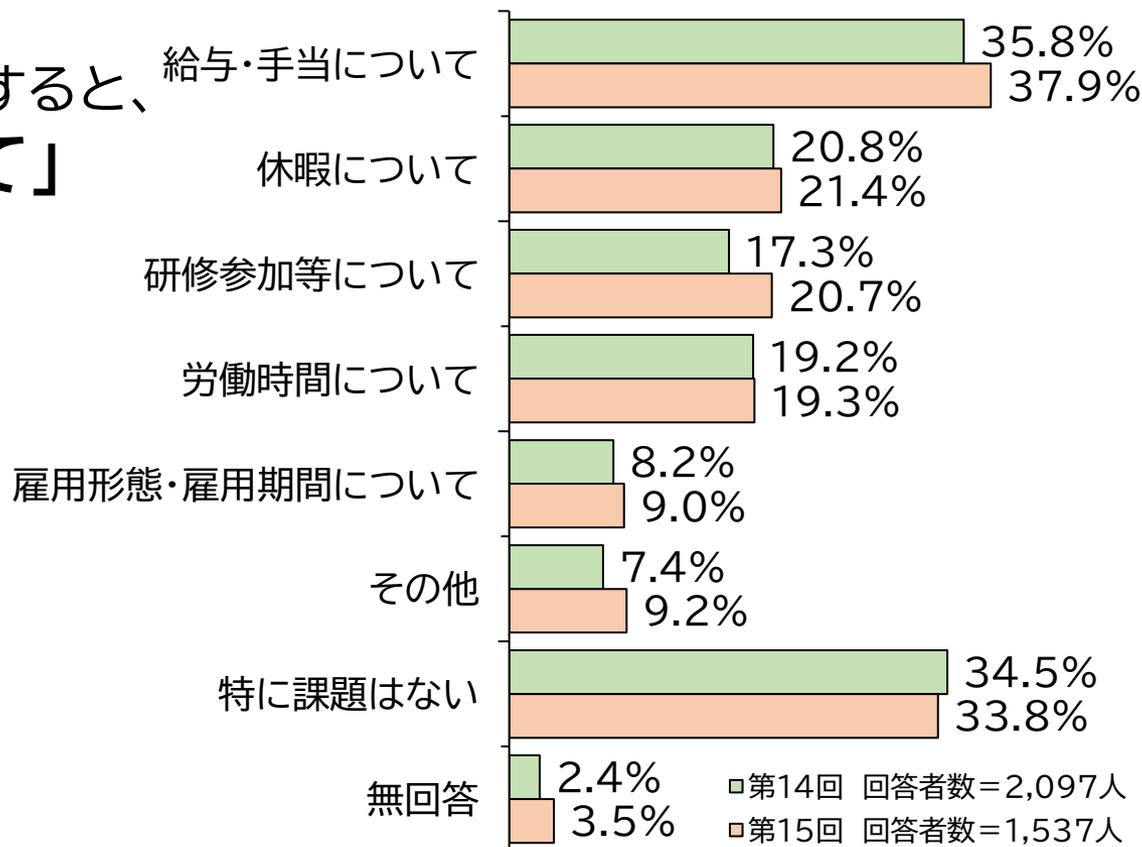


※就労に関する回答者数は、職場の種類「福祉や介護に関係しない仕事」「仕事はしていない」「無回答」を除く1,537人が集計対象

# ● 就労状況／労働条件の課題（問23）

「給与・手当について」37.9%、  
「休暇について」21.4%

第14回調査の結果と比較すると、  
「研修参加等について」  
3.4ポイント増加

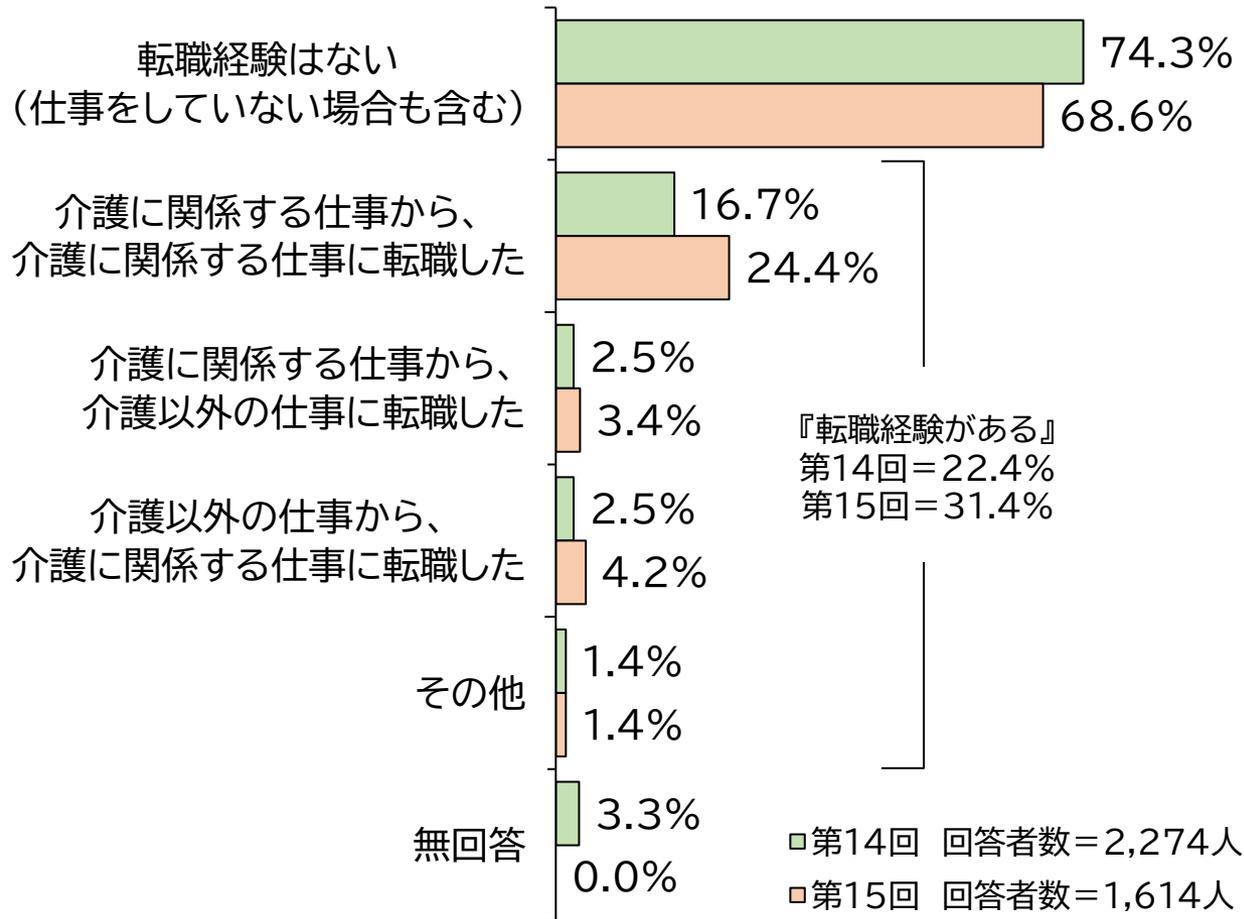


※就労に関する回答者数は、職場の種類「福祉や介護に関係しない仕事」「仕事はしていない」「無回答」を除く1,537人が集計対象

# ● 転職・退職経験の有無（問27）

第14回調査の結果と比較すると、

## 「転職経験がある」が9.0ポイント増加

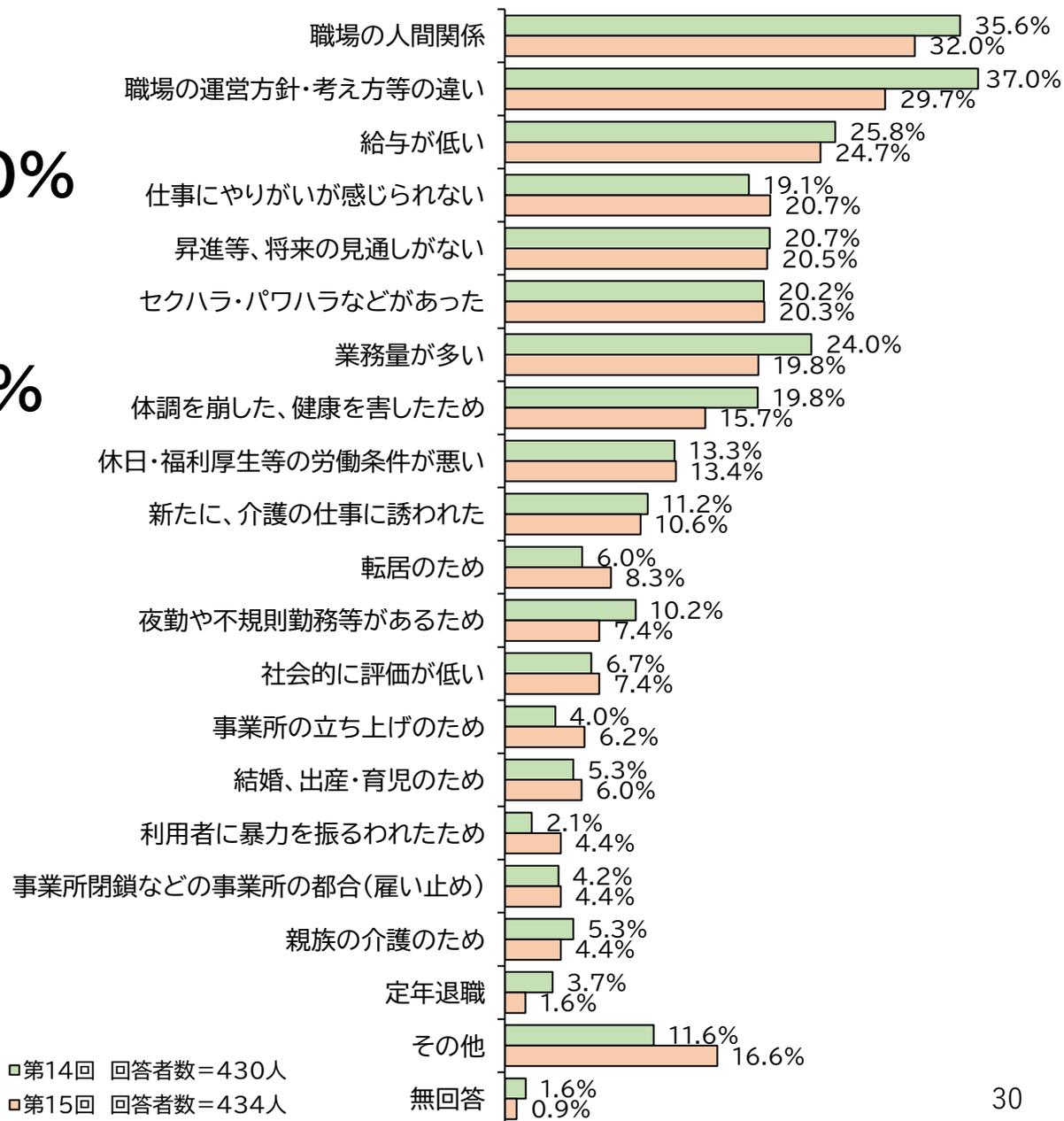


# ● 転職理由（問27（1））

第1位は、  
「職場の人間関係」32.0%

第2位は、  
「職場の運営方針・  
考え方等の違い」29.7%

第3位は、  
「給与が低い」24.7%



□第14回 回答者数=430人  
□第15回 回答者数=434人

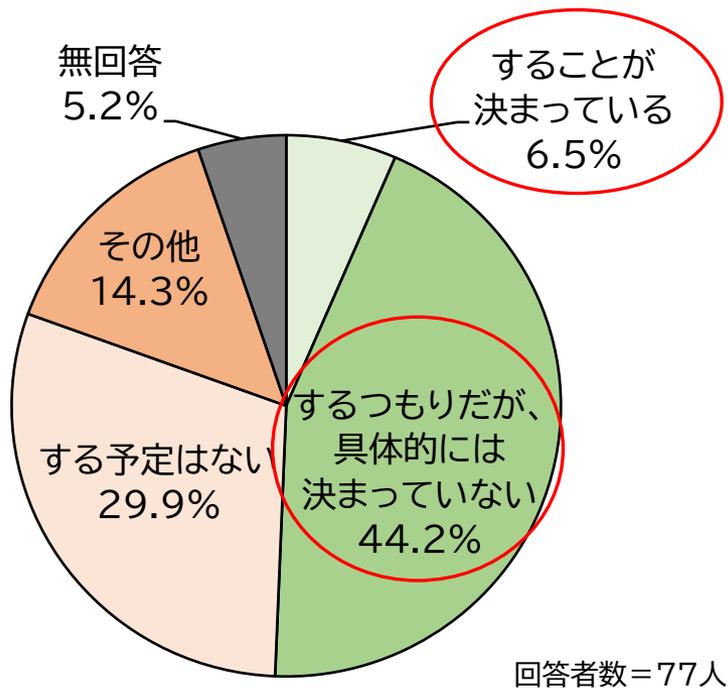
## ● 就労状況／介護の仕事をする予定（問13）

現在、「福祉や介護に関係しない仕事」または「仕事をしていない」方

「することが決まっている」6.5%

「するつもりだが、具体的には決まっていない」44.2%

**50.7%が福祉や介護の仕事への復帰を予定・希望**



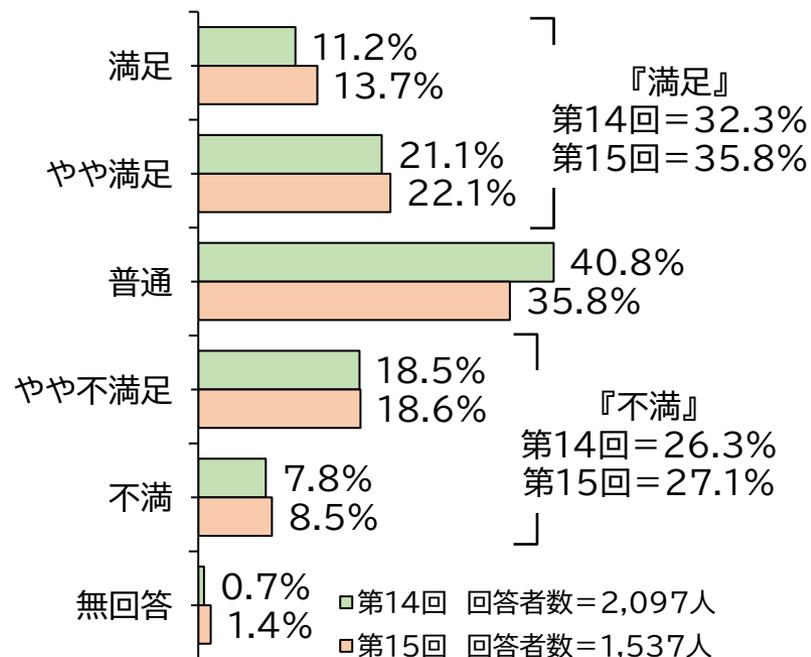
※現在、「福祉や介護に関係しない仕事」または「仕事をしていない」77人が集計対象

# ● ワーク・ライフ・バランスと 仕事の内容・やりがいの満足度（問24）

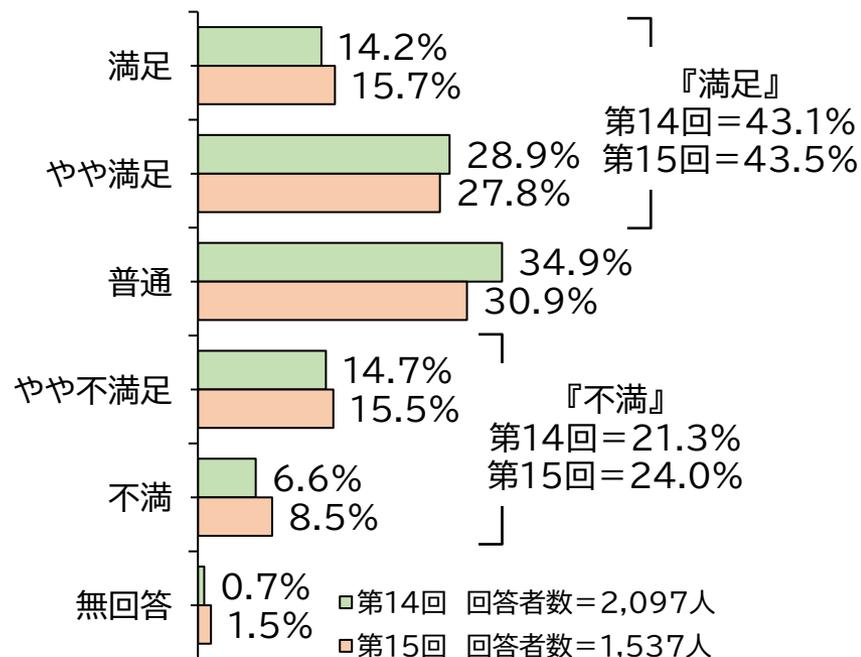
ワーク・ライフ・バランスの満足度は、『満足』35.8%

仕事の内容・やりがいの満足度は、『満足』43.5%

①ワーク・ライフ・バランスの満足度



②仕事の内容・やりがいの満足度



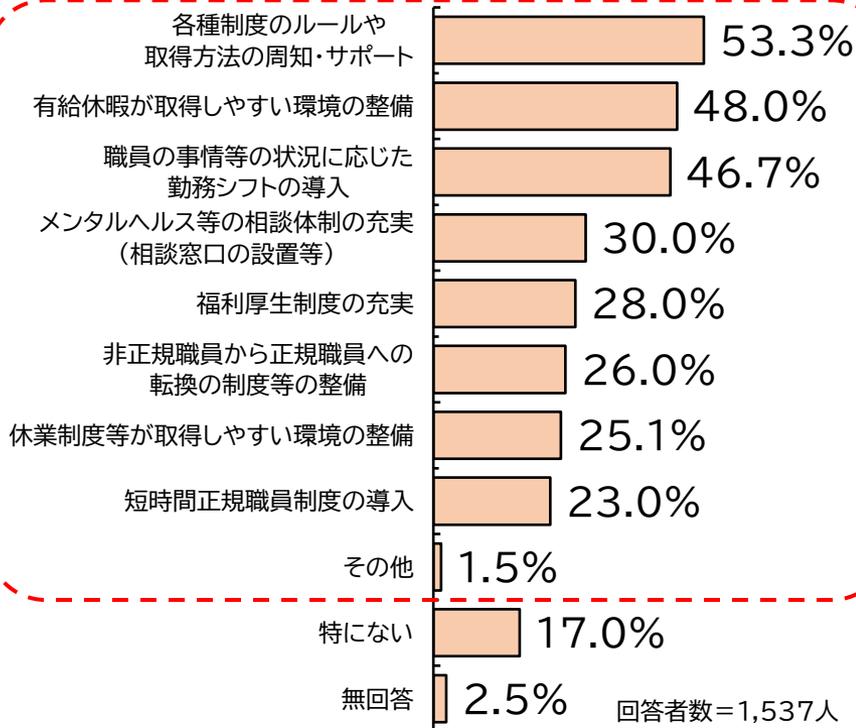
※職場の種類の「福祉や介護に関係しない仕事」「仕事はしていない」「無回答」を除く1,537人が集計対象

# ● ワーク・ライフ・バランス／職場での取り組み（問25）

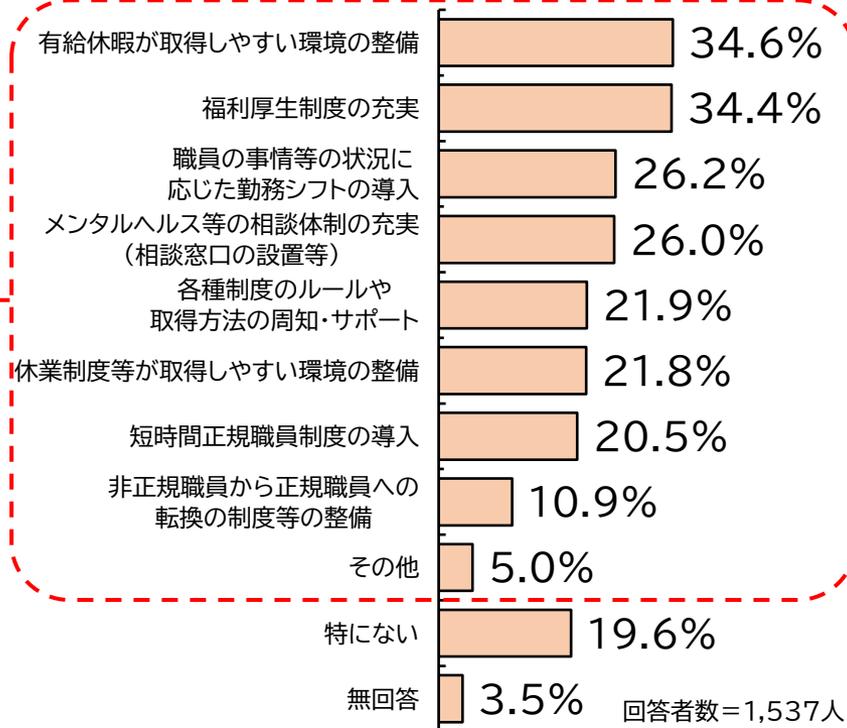
『取り組まれているものがある』  
は80.5%

『充実してほしい  
(必要なことがある)』は76.9%

## ①職場で取り組まれているもの



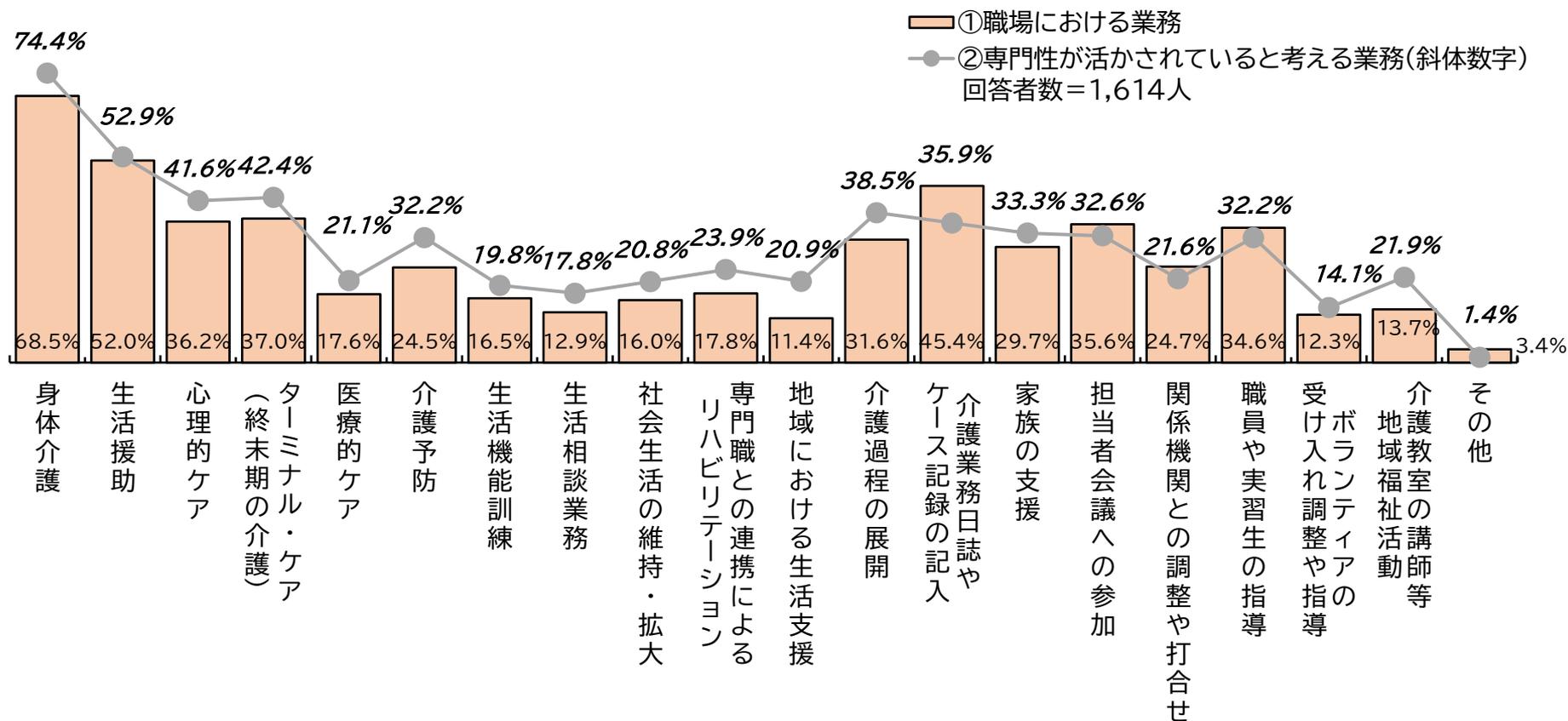
## ②今後、充実してほしい・必要と思うもの



※職場の種類の「福祉や介護に関係しない仕事」「仕事はしていない」「無回答」を除く1,537人が集計対象

# ● 職場における業務内容と介護福祉士の専門性（問28）

所属別のその他の機関、主な職種別の教員・助手等を除き、  
すべてにおいて「**身体介護**」が第1位  
「生活援助」「介護業務日誌やケース記録の記入」も高い割合



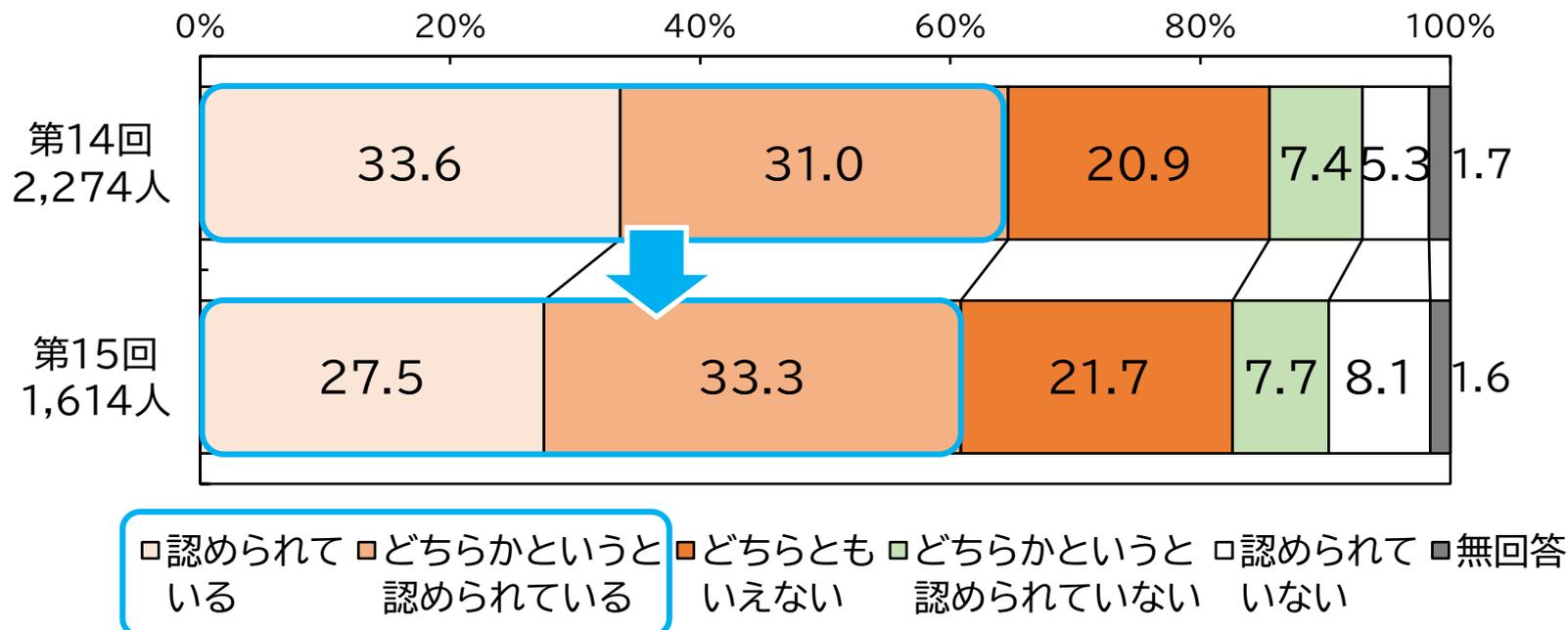
# ● 介護福祉士の専門性の認知（問29）

職場では、『認められている』60.8%

『認められていない』15.8%

前回調査と比較すると『認められている』3.8ポイント減少

職場における介護福祉士の専門性の認知



# ● 介護福祉士の専門性の認知（問29）

一般社会では、『認められている』39.7%  
『認められてない』29.3%

前回調査と比較すると、1.7ポイント減少

一般社会における介護福祉士の専門性の認知

